

長崎県気候変動適応センターの取組

長崎県環境保健研究センター
(長崎県気候変動適応センター)

企画・環境科

令和8年3月10日

長崎県気候変動適応センターについて



長崎県気候変動適応センター
ホームページ



長崎県気候変動適応センターの設置
(長崎県環境保健研究センター内)
令和3年10月1日

ECO-DRR(生態系を活用した防災・減災)カルテ」長崎県版の紹介



文字サイズ **標準** 拡大

色合い **白** 黒 青

Googleカスタム検索

検索

目的で探す

地域で探す

組織で探す

安全・安心

暮らし・環境

福祉・保健

しごと・産業

まちづくり

観光・教育・文化

県政情報

ホーム > 分類で探す > 県政情報 > ご意見・ご相談窓口 > 広聴(ご意見等の投稿、パブリックコメントなど) > ながさき県政出前講座

ながさき県政出前講座

お知らせ

○令和7年度のながさき県政出前講座のメニュー一覧表掲載しております。

ながさき県政出前講座

【概要】

- 福祉やまちづくりなど、身近な話題から県が重点的に取り組んでいる施策のうち、計136の中からお選びいただいたテーマについて、担当する県の職員が会場に伺い、ご説明した後、意見交換や質疑応答を行います。

[📄 令和7年度出前講座一覧表 \[PDFファイル/698KB\]](#)

7	14	気候変動を知ろう～私たちができる対策(適応策)について～	夏の異常な暑さ、局地的な豪雨をはじめ、県内でも様々な気候変動による影響が見られています。気候変動に関する最新の動向、県内でみられる気候変動による影響と県民の皆さまが取り組める対策(適応策)について紹介します。	パワーポイント	30～60	環境保健研究センター
---	----	------------------------------	--	---------	-------	------------

Eco-DRRカルテ(長崎県版)

- Eco-DRRカルテは、各県の地形・気象・災害の特性やEco-DRR(※)の概要をまとめたもの
- 地方公共団体内での理解醸成や取組方針の検討をサポートするツールとして、気候変動適応州・沖縄広域協議会災害対策分科会が、地産共団体と協働して作成(令和6年3月)

※Eco-DRR

(Ecosystem-based Disaster Risk Reduction: **生態系を活用した防災・減災**)
森林における雨水浸透や遊水地(氾濫原湿地等)への湛水による洪水の緩和、水害防備林による洪水被害の抑制等の自然環境が持つ防災・減災の機能をうまく活用しようという考え方

Eco-DRRの考え方

💡 Eco-DRRとは

自然環境や自然の素材を最大限に活かして、防災・減災の工夫をしようという考え方。

今後、気候変動の影響もあり激甚化や頻発化が懸念される豪雨災害に適切に対応していくため、自然環境等の地域資源を活用した一つのアプローチとして、「Eco-DRR(生態系を活用した防災・減災)」という考え方が注目されています。

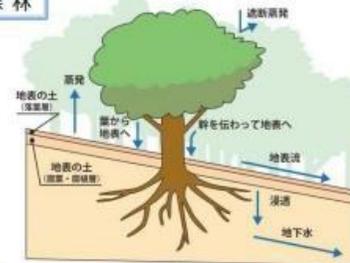
貯める・しみこませる

水を

たとえば・・・
森林、草原、農地、湿地 など

森林には、生物の生息場や酸素の供給（CO₂の吸収）などの様々な機能がありますが、樹木や地表の土（落ち葉や植生含む）が降雨を遮断・保水することや、雨水を地中に浸透させることで、洪水を緩和する機能もあると言われています。また、草原や農地についても雨水を一時的に貯留し、地下へと浸透させることで洪水緩和の機能があることが知られています。

森林



草原



受けとめる

水を

たとえば・・・
遊水地、霞堤、保水・遊水機能を持つ公園 など

遊水地や霞堤は、豪雨時に河川の水位が上昇した際に水を一時的に氾濫させることで、下流側での洪水の被害を軽減する機能を持っています。このように土地や地形を利用した防災・減災技術もEco-DRRと言えます。遊水地は平常時には公園として利用することや、氾濫原湿地として貴重な生物の生息場となることもあります。

遊水地（湿地等）

平常時



出水時



霞堤

平常時



出水時



💡 Eco-DRRとは

自然環境や自然の素材を最大限に活かして、防災・減災の工夫をしようという考え方。

減らす

水の流れや風速を

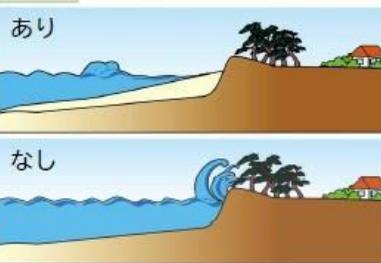
たとえば・・・
海岸防災林（松林）、砂浜、干潟、水害防備林 など

海岸防災林はクロマツなどで構成されており、九州地域では「白砂青松」として景観資源やレクリエーションの場となっている場所も多くあります。これらは、海風の風速を減らして民家や農地を潮風害から守るため、古くから植栽・維持管理されています。また、広い砂浜には波を砕き力を減らす効果があり、海岸防災林と一体となって風と波から沿岸の地域を守っているところもあります。

海岸防災林



砂浜



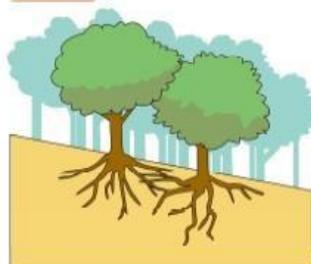
抑える

崩れることや崩れたものを

たとえば・・・
森林、緩衝林、棚田、マングローブ林 など

森林では、樹木が根を張り巡らし固定されることで土砂の崩壊を防ぐ機能がはたらくています。また、緩傾斜に配置された樹林帯は、緩衝林として崩れた土砂や流木を捕捉して近隣の住居の被害を軽減することもあります。そのほか、沖縄・奄美地方に存在するマングローブ林には、津波の際に波の流れの力を弱めるとともに、漂流物を捕捉していたという海外の事例もあります。

森林



緩衝林



Eco-DRRカルテ(取組の方向性の案)

・ 災害リスクの低減に向けた地域資源の保全・活用の方向性

■長崎県の地域特性

地理的特性



- ・ 土砂災害が起こりやすい地形のなかで、気候変動の影響もあり、土砂災害や平地部での水害リスクが今後更に増大
- ⇒ 斜面に密集している市街地での土砂災害
- ⇒ 平地部における河川氾濫・高潮 など



地域資源



- ・ 県内の約60%を占める森林
- ・ 地域固有の自然環境
- ・ 自然環境を活用した防災・減災技術

■長崎県における自然環境の保全・活用の取組の方向性

防災・減災に資する地域資源として、自然環境を保全・活用する

急傾斜地の多い長崎県では、土砂災害を軽減する上で
棚田の保全や森林整備などが重要

長崎県気候変動適応セミナーについて

- 令和4年度から長崎県気候変動適応セミナーを開催
- 今年度で4回目の開催

第1回 気候変動と災害(対面)

長崎県気候変動適応セミナー
～激甚化・頻発化する災害から
私たちの暮らしを守るために～

参加費 無料
参加者にはエコボトルまたはエコバッグをプレゼント！

地球温暖化の影響と見られる異常気象、自然災害、気候変動の影響が避けられないこれからの時代に備えるために「適応」していくべきか、一緒に考えてみませんか。

日時 令和4年8月28日(日) 13:00～15:30
会場 シーハットおむら さくらホール(長崎県大村市幸町25-33)
12:30～ 受付開始

基調講演「気候変動と私たちの暮らしへの影響」(40分)
気候変動で何が起きているのか、私たちの暮らしへの影響は？
国立環境研究所 気候変動適応センター長 向井 人史 氏

講演「気候変動と気象現象の激甚化について」(20分)
異常気象や台風・豪雨は今後どうなるのか、私たちが知っておくべき気象情報。
長崎地方気象台長 白石 昇司 氏

講演「災害から身を守るために」(30分)
豪雨災害はなぜ起こるのか、私たちが身を守るためにとるべき行動とは。
九州大学名誉教授 小松 利光 氏

主催 長崎県 後援 環境省九州地方環境事務所

第2回 若者向けセミナー(Web)

長崎県気候変動適応セミナー
～未来へ繋ぐ適応の取組について～

令和5年9月17日(日) 13:00～15:00

13:00 開会あいさつ 主催者代表あいさつ 長崎県気候変動適応センター長 本多雅幸
13:05 基調講演 気候変動と県内への影響について 長崎地方気象台長 白石昇司 氏
13:40 講演 気候変動の適応と学生たちの取組について 国立環境研究所 気候変動適応センター 気候変動適応コーディネーター 浅野絵美 氏
14:15 講演 九電みらいの森プロジェクト 公益財団法人 九電みらい財団 課長 川崎勇二 氏
14:50 取組紹介 長崎県の取組紹介 長崎県気候変動適応センター

日時 令和5年9月17日(日) 13:00～15:00
会場 Web開催(Webex)
対象 どなたでも参加できます。
申込方法 https://apply.e-tumo.jp/pref/nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=2640

上記アドレス又は右のQRコードから申込み専用ホームページにアクセスし、必要事項を入力して申し込んでください。会議用URLを返信しますので、当日12:30以降にご利用ください。

セミナーに関するお問合せ
長崎県気候変動適応センター TEL 0957-48-7560 (担当/ 企画・環境科 前田・船越)
(長崎県環境保健研究センター内) メールアドレス nagasaki-icc@pref.nagasaki.lg.jp

主催 長崎県

第3回 気候変動と熱中症(Web)

長崎県気候変動適応セミナー
～高齢者の熱中症予防のための
「暑さ対策セミナー」～

13:00 主催者代表あいさつ 長崎県気候変動適応センター長 本多雅幸
13:05 気候変動と私たちの暮らしへの影響 国立環境研究所 気候変動適応センター 気候変動影響観測研究室長 岡 和孝氏
13:25 長崎県の熱中症発生状況と地域の特徴 長崎県気候変動適応センター
13:40 熱中症の予防と対策 大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部 九州第一支店 長崎出張所 課長補佐 森岡 剛氏

日時 令和6年7月11日(木) 13:00～14:20
会場 Web開催(Webex) サテライト会場(県庁3階 317会議室)
※サテライト会場は先着18人までご参加いただけます。申込時にサテライト会場での参加を希望してください。サテライト会場はモニターでの視聴となります。
対象 高齢者に関わる方(どなたでも参加できます)

申込方法
下記アドレス又は右のQRコードから申込みページへアクセスし、必要事項を入力後、URLを返信しますので、当日12:30以降にご利用ください。
https://apply.e-tumo.jp/pref/nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=4718

セミナーに関するお問合せ
長崎県気候変動適応センター TEL 0957-48-7560 (担当/ 企画・環境科 前田・船越)
(長崎県環境保健研究センター内) メールアドレス nagasaki-icc@pref.nagasaki.lg.jp

主催 長崎県

令和7年度 セミナー概要

自由研究のススメ!
～みらいの天気と災害へのそなえ～

日時 令和7年8月23日(土)
13:30～16:30

場所 ミライon図書館 多目的ホール
(大村市立図書館 大村市東本町481)

定員 30人程度 (先着順/事前予約制)

小学校
4年生以上
向け

お申し込みは
こちらから

坂本講師
(気象予報士、防災士)
〇気候変動って...なに?
〇これからどうなる?日本の天気
クイズや実験・体験をしながら
楽しく学ぼう!

浅野講師
(気候変動適応コーディネーター)

参加者プレゼント
非常用の食品をプレゼント!
おうちで食べてみよう!

体験しよう!
避難所生活体験!
ダンボールベッドなどを
使ってみよう!

VRで浸水体験!
大雨による浸水って
どんなかんじ?

100均で揃える! 備える!
防災グッズ・備蓄品を見てみよう!

お問い合わせ
長崎県気候変動適応センター (長崎県環境保健研究センター内)
電話/0957-48-7560 担当/横田、船越
メール/nagasaki-lccac@pref.nagasaki.lg.jp
主催/長崎県

- テーマ
気候変動×防災×体験
- タイトル
自由研究のススメ!
～みらいの天気と災害へのそなえ～
- 対象
小学4年生以上とその親
- 定員 30人程度(先着順/事前予約制)
- プログラム(計3時間)
 - 講演 2時間
 - ①気候変動って...なに?
 - ②これからどうなる?日本の天気
 - 体験 1時間
 - ①防災グッズ展示&説明コーナー
 - ②避難所生活体験コーナー
 - ③VRで浸水体験コーナー

令和7年度 セミナーの様子(講演①)

講演① 気候変動って…なに？ 講師:気候変動適応センター 浅野さん



令和7年度 セミナーの様子(講演②)

講演② これからどうなる？日本の天気 講師：一般社団法人レベルフリー 坂本さん



講演中に簡易
実験を実施

令和7年度 セミナーの様子(体験①)

体験コーナー

100均で揃う！備える！（防災グッズ展示&説明コーナー）

対応:レベルフリー 坂本さん



令和7年度 セミナーの様子(体験②)



体験コーナー
避難所生活体験
(ダンボールベッドの組立競争&使用感の体験)

対応
大村市安全対策課

令和7年度 セミナーの様子(体験③)

体験コーナー

VRで浸水体験！（VRを用いて長崎市内が浸水した状況を体験）

対応：長崎振興局 河川課



ご清聴ありがとうございました

